

機構資料2 総括表

中期計画の項目		No.	第1期中期目標期間					第2期中期目標期間					第3期 R2 自己評価	評価理由				
			H22 評価	H23 評価	H24 評価	H25 評価	H26 評価	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価						
県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	(1) 政策医療の提供	① 県立中央病院	ア 救命救急医療	1	A	A	S	S	S	S	S	S	S	S	S	病院外心肺停止症例における社会復帰症例数は過去最多、ドクターヘリのランデブーポイントの増、精神・身体合併症病棟患者数は過去最多、精神医療に係る北病と中病の連携、二次救急当番日数は過去最多 →総合的に特に優れており前年度同様「S」		
			イ 総合周産期母子医療	2	A	A	A	A	A	A	S	S	S	S	S	S	母体の救急搬送の受入数は過去最多、新生児（1,500g以下）の受入数は過去最多、産婦検診数は過去最多、妊婦へのPCR検査の実施 →総合的に特に優れており前年度同様「S」	
			ウ がん医療	3	A	A	A	A	S	S	S	S	S	S	S	S	通院加療がんセンター患者数は過去最多（新薬による治療拡大、患者待ち時間短縮の取組等）、低侵襲性手術支援ロボットの活用（手術件数の増）、専門的ながん医療の提供（がんゲノム医療、化学療法及び放射線療法の効果的な組み合わせ）、骨転移外来（運動器腫瘍外来）の開設 →総合的に特に優れており前年度同様「S」	
			エ 循環器病医療	4													経静脈電極拔去手術の導入、ステントグラフト内挿術は過去最多、土・祝日リハビリテーションの試行的実施（R3年4月から通年実施）、「早期離床・リハビリテーション加算」の算定 →優れており「A」	
			オ 難病（特定疾患）医療	5	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A		新型コロナウイルス感染症の影響により、評価なし	
			カ エイズ医療	6	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	エイズ治療中核拠点病院、当院患者数は過去最多（78.1%を当院で診療） →優れており前年度同様「A」	
			キ 感染症医療	7	B	B	B	A→B	A	A	A	A	A	A	A	S	新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定（R2年8月）、病床の確保（陰圧室、必要な機材の整備）、重症患者の受入、「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」の作成（R2年7月）、院内感染対応訓練の実施、遺伝子配列解析による変異株の検出→総合的に特に優れており1ランクアップ「S」	
		② 県立北病院	ア 精神科救急・急性期医療	8	B	B	B	A	S	S	S	S	S	S	S	S	精神科救急医療体制の24時間化に対応（H27以降）、総合的で一貫した医療の提供（治療、退院促進、退院後リハ）、平均在院日数の減（早期退院） →総合的に特に優れており前年度同様「S」	
			イ 児童思春期精神科医療	9	B	B	B	A	A	A	S	S	S	S	S	S	高度で専門的な診療の実施（常勤専門医2名、10対1看護、専任の精神保健福祉士等）、入院患者数・外来患者数は過去最多、平均在院日数は過去最多 →総合的に特に優れており前年度同様「S」	
			ウ 心神喪失者等医療観察法に基づく医療	10	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	多職種治療チームによる治療体制・通院患者支援体制の継続 →優れており前年度同様「A」	
			エ 重度・慢性入院患者への医療	11						B	A	A	A	A	A	A	m-ECT治療の実施回数・新規開始患者数とも過去最多、クロザピンの使用者数・投与継続者数とも過去最多（人口10万人当たり使用患者数は全国上位） →優れており前年度同様「A」	
			オ 重症通院患者への医療	12						B	A	A	A	A	A	A	多職種治療チームによる適切な医療の提供（症状・生活の変化等を随時把握し速やかに診療及び生活支援する仕組み）、重症通院患者支援推進会議の実施、訪問看護ステーションの開所（H31年4月）、デイケア新治療プログラムの導入（R1）、成人発達障害疾患別専門プログラムの導入（R1） →優れており前年度同様「A」	
			カ 依存症患者への医療	13													A	ゲーム依存症患者専用プログラムの導入（R2）、ゲーム依存症患者数は過去最多 →優れており「A」
			キ 認知症患者への医療	14													A	認知症患者数は過去最多、保健所等からの専門医療相談数は過去最多 →優れており「A」
	(2) 質の高い医療の提供	① 医療の標準化と最適な医療の提供	15	A	A	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	クリニカルパスの専門部署の設置及び専従職員2名の配置（R2年4月）、「Health Care books」の導入及び専従看護師の配置（R2年4月）、e-learning用タブレット端末の全病棟導入（R2年4月）、顔面神経麻痺外来の開設（R2年9月） →総合的に特に優れており前年度同様「S」		
		② 質の高い看護の提供（←7対1看護体制への柔軟な対応）	16	B	A	A	A	A	A	S	S	S	S	S	S	正規・新卒の離職率は全国平均を大きく下回る、専従看護師の配置（災害、情報管理、クリニカルパス）、看護夜間配置12対1、急性期看護補助体制加算25対1、マンツーマンの個別新卒看護研修 →総合的に特に優れており前年度同様「S」		
		③ 病院施設の修繕、医療機器等の整備 (病院施設の計画的な修繕・改善) No.17に統合	17	B	B	B	B	A	S	A	A	A	A	A	A	医療機器のベンチマーク導入（R2）、新型コロナウイルス感染症に対応した陰圧室への改修等施設整備、関連機器の整備（約1億5,000万円） →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」		
	(3) 県民に信頼される医療の提供	① 医療安全・感染症対策の推進	18	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	S	レベル3以上のインシデント・アクシデント件数の大幅減、新型コロナウイルス院内感染防止のための各種取組み（診療の中止や縮小をすることなく病院機能を維持） →積極的に取り組んでおり1ランクアップ「S」		
		② 医療倫理の確立	19	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B			
		③ 患者・家族との信頼・協力関係の構築	20	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	入退院センター面談室の増設・全診療科に対象拡大（R1）、在宅への退院支援件数は過去最多、オンライン面会の導入 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」		
		④ 医薬品の安心、安全な提供	21	B	B	B	B	A	S	A→B	B→C	B	B	A	A	服薬指導回数は高い数字を維持、全病棟に専任薬剤師の配置（R1）、薬剤部の出入口を原則常時施錠（R2）、”誤投薬ゼロ”キャンペーンによるインシデントレベル3の大幅減（38.5%減）、退院指導回数は過去最多（28.2%増）、新型コロナウイルスワクチンの管理・分配（R2） →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」		
		⑤ 患者サービスの向上	22	A	A→B	A→B	A→B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	入退院説明率過去最高、駐車場の増設（68台）、トイレの改修（和式便器→洋式便器、オムツ替えシートの設置）、通院加療がんセンターの待ち時間短縮（ベッド6床増床）、リクライニングチェアの導入、携帯電話のアンテナ増設工事、外国人患者への配慮 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」	
		⑥ 診療情報の適切な管理	23	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	退院時要約記載の徹底、電子カルテシステムの更新に向けた取組、診療録記録監査の実施 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」	

中期計画の項目		No.	第1期中期目標期間					第2期中期目標期間					第3期 R2 自己評価	評価理由	
			H22 評価	H23 評価	H24 評価	H25 評価	H26 評価	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価			
業務 運 営 の 改 善 及 び 効 率 化 並 び 財 務 状 況 に 関 す る 事 項	2 医療に関する調査及び研究	24	A	A	A	A	S	S	S	S	S	S	S	臨床試験管理センターで事務を一元管理、県立大学との共同研究 新型コロナウイルスに係る英語論文を積極的に投稿、論文数は英語邦文とも過去最多、科学研究費補助金等の獲得 →総合的に特に優れており前年度同様「S」	
	3 医療に関する技術者の育成、確保及び定着	(1) 医療従事者の研修の充実 (医療従事者の育成、確保及び定着) No. 25に統合	25	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	S	研究研修予算の増額(20.3%増)、認定看護師過去最多、マンツーマンの個別新卒看護研修、e-learning用タブレット端末の全病棟導入(R2)、様々な院内研修会の開催、若手医師の積極的採用 →総合的に特に優れており1ランクアップ「S」
		(2) 職場環境の整備	26	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	S	医師事務作業補助者の採用(19名)、各部署に健康管理担当者を設置、職員満足度調査の平均評価点は過去最高、年休取得状況は大幅改善、半日単位での年休取得制度の創設、特別休暇としての「学校行事参加休暇」及び「不妊治療休暇」 →総合的に特に優れており1ランクアップ「S」
	4 医療に関する地域への支援	(1) 地域医療機関との協力体制の強化	27	B	B	B	B	A	S	S	S	S	S	S	紹介率は高水準維持、逆紹介率は過去最高、連携登録医向け研修会の開催、整形外科相談ホットラインの開設(R2年10月)、甲府市医師会PCR検査の研修受入(R2) →総合的に特に優れており前年度同様「S」
		(2) 地域の医師不足の解消に対する支援 (←地域医療への支援)	28	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
		(3) 県内の医療水準の向上	29	B	B	B	B	B	B	B	A→B	B	B	B	
		(4) 地域社会への協力	30	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	救急救命士の各種実習、看護師養成機関や高校・市町村等への講師派遣、捜査機関等からの調査に協力、手話通訳者検診の実施 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
	5 災害時における医療救護	31	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	S	災害対策担当専任看護師の配置、DMATの確保、洪水時の避難確保計画の策定(R2年10月)、新型コロナウイルス医療対策本部・クラスター発生病院へのDMAT隊員の派遣、沖縄県への看護師派遣 →総合的に特に優れており1ランクアップ「S」	
	業務 運 営 の 改 善 及 び 効 率 化 並 び 財 務 状 況 に 関 す る 事 項	1 医療環境の変化に対応できる運営体制の構築	32	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	病院会議等を通じた病院全体の情報交換・共通認識の醸成・業務改善の意識付け、委託料のベンチマーク比較(R2)、ZoomによるWeb会議の環境整備(R2) →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
		2 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減 (効果的な業務運営の実現) No. 33に統合	33	A	B	B	A→B	A	S	S	S	S	S	S	当年・過年度発生した未収金は過去最少、薬品値引率は過去最高(16.5%)、診療材料の共同購入組織加盟による経費の大幅削減(約1億1,200万円の削減)、後発医薬品の積極的な採用(使用割合は過去最高)、共同購入組織メッカルGPOへの加入(R2) →総合的に特に優れており前年度同様「S」
3 事務部門の専門性の向上		34	B	B	B	A→B	A	A	A	A	A	A	A	プロパー職員の計画的採用、クリニカルパス分析の専門部署の設置(R2年4月)、日本医療マネジメント学会へプロパー職員を派遣 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」	
4 職員の経営参画意識の向上		35	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	病院会議による経営情報の周知、医療機能推進委員会を通じた課題の共有化、病院群の比較ができる経営分析ソフトの導入(R2年4月)、DiNQLへの参加、医療の質の評価・公表等推進事業への参加、通年型職員提案制度 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」	
5 予算、収支計画、資金計画、短期借入金の限度額		36	S	S	S	S→A	S	S	S	S	S	S	S	経常利益は、計画を8億7,000万円を上回る18億7,700万円を確保→計画を大幅に上回っており前年度同様「S」	
そ の 他 業 務 運 営 に 関 す る 事 項	1 保健医療行政への協力	37	B	B	B	B	A	S	S	S	S	S	S	県の保健医療の重要政策に協力(がん診療連携拠点病院・救命救急センター・総合周産期母子医療センター・難病医療拠点病院等)、二次救急当番日数の増、精神科救急24時間対応、新型コロナウイルス患者の受入・医師等の派遣 →総合的に特に優れており前年度同様「S」	
	2 法令・社会規範の遵守	38	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		
	3 積極的な情報公開	39	B	B	B	B	B	B	B	A→B	B	B	B		
	4 業務運営並びに財務及び会計に関する規則第7条で定める事項	40	B	B	B	A	A	A	A	S→A	S→A	A	A	必要な施設及び設備を整備、職員数は前年度と比べて5.1%増(常勤医師15名増・看護職17名増)、過去最多1,659人となり政策医療の確実な実施や質の高い医療の提供に向け適切な人事管理を実施、人材確保に繋がる新専門医制度に係る専門研修プログラム →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」	

	S	A	B	C	D	評価なし	計	
H22	2	11	27	1	0	0	41	第1期中期目標期間
H23	2	9	30	0	0	0	41	
H24	4	8	29	0	0	0	41	
H25	4	14	23	0	0	0	41	
H26	8	18	15	0	0	0	41	
H27	12	15	13	0	0	0	40	第2期中期目標期間
H28	13	16	11	0	0	0	40	
H29	13	17	9	1	0	0	40	
H30	13	17	10	0	0	0	40	
R1	13	21	6	0	0	0	40	第3期中期目標期間
R2	17	17	5	0	0	1	40	
増減	4	△4	△1	0	0	1		

評価S…当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている
 評価A…当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている
 評価B…当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である
 評価C…当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている
 評価D…当該事業年度における中期計画の実施状況が著しく劣っており、大幅な改善が必要